

教育長賞

人と人との輪をつなぐ

堺市立 月州中学校 三年

橋木蒼太

人はなぜ非行や犯罪を起こしてしまうのでしょうか。どうすれば非行や犯罪はなくなるのでしょうか。

非行や犯罪といつても、未成年の飲酒、喫煙、大麻などの違法薬物の使用、詐欺、窃盗など様々なものがあります。

そこで私は、私たちにとって身近な「SNS」による非行や犯罪を例に原因と対策を考えてみました。SNSは娯楽として、知識を得る手段として、世界中の人々とつながる方法として、私たちの世界に確実に溶け込んでいます。なくてはならないものでしょ。

このことから、私は、SNSをはじめとするすべての非行や犯罪を防止するためには、誰もが気軽に話し合える「人と人の輪」が大切だと思いました。このような輪をつなぐためには、ホップ、ステップ、ジャンプが必要です。

まず、ホップは「知ること」です。私はこれまで社会を明るくする運動はおろか、非行や犯罪についてほとんど知りませんでした。この作文を書くにあたり、過去の報道記事や資料などを調べ、この現状について知りましたが、この作文を書くことがなければ、知ることもなかつたでしよう。知ることがなければ行動を起こすこともあります。「知ること」、そして受け入れようと/orする姿勢は、誰もが安心して「人と人の輪」に溶け込むための第一歩だと思います。

私は、このような非行や犯罪が起つてしまう要因には、学校や家庭に居場所がなく、相談する相手やその間違いを正してくれ

る人がいないことが挙げられると思います。実際私も家族や友達、学校の先生から学ぶことがたくさんあります。

して家族や友達など、周りの人を大切にしたいと思います。また、私は生徒会役員として、毎朝の挨拶運動をおこなっています。小さなことかもしれません、挨拶を交わすだけでも、輪をつなぐきっかけになると思うので、この活動を通して、「人と人の輪」をつなぐ一員になりたいと思います。

そして、私は将来、教師になりたいです。教師として、生徒の小さな変化にも気づき、寄り添い、良い方向に導いていきたいです。

最後はジャンプです。ジャンプは人と人間にある壁を乗り越え、手と手を取り合い、「人と人の輪」をつなぐことです。これで私の思う非行防止の社会の完成です。

この作文を書く前の私にとって、非行や犯罪は対岸の火事のようなものでした。しかし「社会を明るくする運動」をきっかけに、知り、考えることができました。同じように、この作文が「社会を明るくする運動」の存在をより広めるお手伝いが出来たらうれしいです。そして、「人と人の輪」をつなぐ第一歩であるホップ「知ること」そしてステップ「行動を起こすこと」最終的にはジャンプにつながることを願っています。

